

2022 年度事業報告書 附属明細書

附属明細書 1 会員一覧

附属明細書 2 主催セミナーに関する事項

附属明細書 3 留学生会館入居状況

附属明細書 4 留学生論文の表彰に関する事項

2022 年度事業報告 附属明細書1 会員一覧

会員一覧

2023 年 3 月 31 日現在

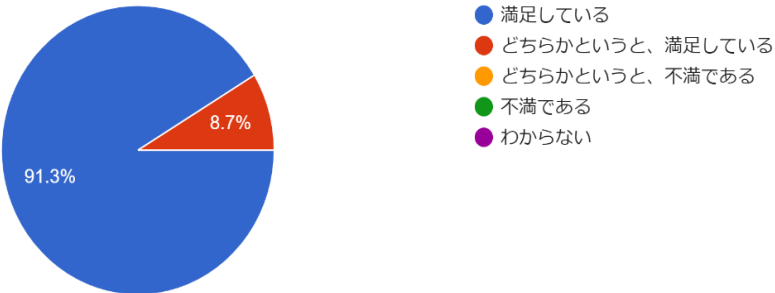
| 正協力会員名称 | | | |
|---------|----------|----------------|------------------------------|
| 1 | 東京工業大学 | 24 | 日本女子大学 |
| 2 | 東京外国語大学 | 25 | 法政大学 |
| 3 | 東京学芸大学 | 26 | 明星大学 |
| 4 | 東京農工大学 | 27 | 立教大学 |
| 5 | お茶の水女子大学 | 28 | 早稲田大学 |
| 6 | 電気通信大学 | 29 | 東洋英和女学院大学 |
| 7 | 一橋大学 | 準協力会員名称 | |
| 8 | 東京都立大学 | 30 | 東京工業高等専門学校 |
| 9 | 青山学院大学 | 31 | 白梅学園短期大学 |
| 10 | 桜美林大学 | 賛助会員名称 | |
| 11 | 大妻女子大学 | 32 | (株)幼体連スポーツクラブ |
| 12 | 慶應義塾大学 | 33 | (株)スリーボンド |
| 13 | 工学院大学 | 34 | 安藤物産(株) |
| 14 | 国際基督教大学 | 35 | 多摩信用金庫 |
| 15 | 駒澤大学 | 36 | 大成建設(株) |
| 16 | 芝浦工業大学 | 37 | 相羽建設(株) |
| 17 | 上智大学 | 38 | 第一屋製パン(株) |
| 18 | 創価大学 | 39 | ハウスコム(株) |
| 19 | 中央大学 | 40 | (一社)ジャパンケネルクラブ 川崎ユース犬友クラブ |
| 20 | 帝京大学 | 41 | 一般社団法人 DOCOMOMO Japan |
| 21 | 東京工科大学 | 42 | 一般社団法人参加型社会学会 |
| 22 | 東京都市大学 | 43 | (株)ビクセン |
| 23 | 東洋大学 | | |

2022 年度事業報告 附属明細書2 主催セミナーに関する事項

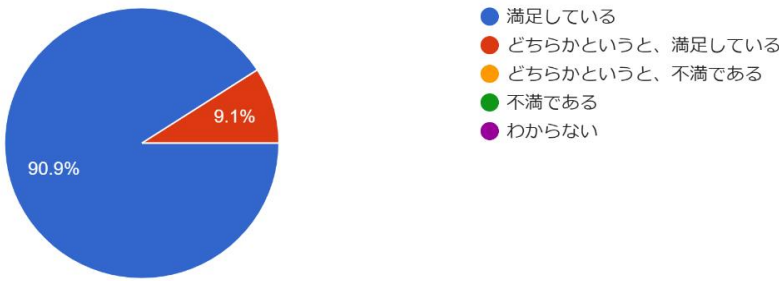
| | |
|---------|---|
| 事業名 | 第 12 回新任教員研修セミナー(オンラインセミナー) |
| 期 日 | 2022 年 8 月 29 日(月)～8 月 31 日(水) |
| 主 題 | ポストコロナのアクティブ・ラーニング |
| 対 象 | 教職員 |
| 趣 旨 | <p>コロナ禍は日本の高等教育に過去最大級のインパクトを与えました。遠隔授業の実施に伴って、いわゆる「課題地獄」など特有の問題も生まれ、学生と教員の心身を疲弊させましたが、その一方で、予習や復習、課題への取り組みといった授業時間外の学習の重要性は改めて確認されました。また、各種調査により、多くの場合、学習意欲の高い学生には遠隔授業の方が有効であることも見えてきました。遠隔授業によって学習データがデジタル化され、振り返りや協同的な学びへの活用にも道が開かれました。</p> <p>しかし、徐々に対面授業が再開されると、遠隔授業では容易に再現できない豊かなコミュニケーションが、学生たちの学びと成長に不可欠であることも再認識されるようになりました。コロナ禍が始まった頃から囁かれていたことですが、遠隔と対面のそれぞれの良さを適切に組み合わせた新たな学びを実現する授業の構築が求められています。その方向性は各大学の特色や方針にもよりますが、教員による創意工夫の余地は小さくありません。</p> <p>第 12 回新任教員研修セミナーでは、ポストコロナを見据えて、ここからの時代に相応しいアクティブ・ラーニング型授業のあり方を探ります。コロナ禍が始まる前から試行錯誤しながら長年にわたってアクティブ・ラーニング型授業を実践・研究してきた講師陣と、まさにコロナ期の最中に大学教員になった参加者が、互いの知恵と経験を共有しながら、熱い対話を通して、新たな高等教育の創造に向けて歩みを進める 3 日間です。</p> <p>大学セミナーハウスは、大学教員相互の交流を図ることによってわが国の大学教育の向上・発展に寄与することを目的としており、今年度も学術・文化・産業ネットワーク多摩との共催で国公私立大学の枠を越えた本セミナーを企画しました。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。</p> |
| 運営委員・講師 | <p><運営委員兼講師></p> <p>菊地滋夫 明星大学学長補佐・人文学部教授(委員長)</p> <p>諏訪茂樹 東京女子医科大学統合教育学修センター准教授</p> <p>福山佑樹 関西学院大学ライティングセンター准教授</p> <p>藤井恒人 東京農工大学グローバル教育院教授</p> <p><講師></p> <p>榊原暢久 芝浦工業大学教育イノベーション推進センター教授</p> <p>伏木田稚子 東京都立大学大学教育センター准教授</p> <p>村山光子 明星大学発達支援研究センター</p> |
| 定 員 | 35 名 |
| 参加者 | 13 名(8 大学) 沖縄県立看護大学(3 名)、国士舘大学(2 名)、前橋工科大学(2 名)、大阪物療大学(2 名)、中央大学(1 名)、ものづくり大学(1 名)、防衛大学校(1 名)、南九州大学(1 名) |
| アンケート結果 | <p>(回答 10 名)</p> <p>※ 満足 7 名 どちらかという満足 2 名 不満 1 名</p> <p>● 満足している ● どちらかという満足 ● どちらかという不満 ● 不満である ● わからない</p> |

| | |
|---------|---|
| 事業名 | 第43回大学職員セミナー(オンラインセミナー) |
| 期 日 | 2022年11月5日(土) |
| 主 題 | 新たなリスクに挑む大学マネジメント ―具体的事例から考える― |
| 対 象 | 主に大学職員 |
| 趣 旨 | <p>大学では多くの事故・事件が発生しており、その結果、人の身体や財産に損害が生ずることもしばしばあります。誠意ある対応は当然のこととして、社会的・道義的責任を負う場合には、実効性ある組織的対応を行うことが必要となります。なかには、大学が加害者となり法律上の賠償責任を負う場合や、さらには大学の役職員が刑事上、行政上の責任を負うことも考えられます。もちろん事故・事件に備えたリスクマネジメントは、大学経営上の重要課題としてすでに定着しています。ところが近年になり、大学は新たな巨大リスクに直面することになりました。皮肉なことに、教育研究活動を活性化・高度化するうえで原動力となる社会連携活動やICTの発展等が、不可避免的に、新たなリスクを呼び込むことになったのです。損害賠償や懲戒処分を伴う重大事故はすでに起きており、今後さらに増加することが危惧されています。現行のリスクマネジメントシステムのスコープの拡張という喫緊の課題に応えるために、まず新たなリスクの詳細について知識を得ることが必要でしょう。これが本セミナーの第一の目的です。</p> <p>第二に、リスクマネジメントの強化に向けてすでに膨大な資源が投入されている一方で、依然として同様の事故・事件が繰り返され、大きな損害が発生しています。リスクについて十分な知識が蓄積され、防止に向けた組織的取組みも制度化されているにもかかわらずです。なぜなのでしょう。事例の検討を通じて見えてきたのが、制度設計そのものではなく、運用の段階で大きな問題が生じているのではないかと、という事情です。制度を成果に繋げることのできないマネジメントの機能不全、という問題が、リスクマネジメントの領域でも起きているのではないかと。おそらく、直接の担当者だけではなく関連する全職員が、リスクマネジメントの当事者として知識と自覚を持って行動することが、問題解決に向けた鍵となるはずですが、古くて新しい、マネジメントの機能不全という問題の克服に向けて理解を深めていくことが、本セミナーの第二の目的となります。</p> <p>第三の目的は、リスクマネジメントの難しさの本質を理解することです。リスク社会論が教える通り、今日、社会の不安定化と科学技術の発展が相まって、解決が困難な多くの社会問題が引き起こされています。大学で多発する事故・事件も、もちろんその一部です。本質的な難しさを理解することにより、事故・事件の防止に向けた効果的で粘り強い取組みへの道がひらけてくるのです。</p> |
| 企画委員・講師 | <p><企画委員> 神山正之 立教大学入学センター<委員長> 青木加奈子 共愛学園前橋国際大学短期大学部事務局 加藤毅 筑波大学大学研究センター准教授 黒田絵里香 慶應義塾塾監局総務部課長・協生環境推進室事務長 田中一平 法政大学学務部次長 渡邊正樹 中央大学学事部企画課課長</p> |
| 定 員 | 30名 |
| 参加者 | 9名(7大学) 明治大学(2名)、駒澤大学、関西外国語大学、関西国際大学、滋慶学園、東京家政学院大学、東京女子大学(各1名) 社会人(1名) |
| アンケート結果 | <p>(回答 8名) ※満足3名 どちらかという満足5名</p> <p>● 満足している ● どちらかという満足 ● どちらかという不満 ● 不満である ● わからない</p> |

| | |
|---------|---|
| 事業名 | 古田武彦記念古代史セミナー2022(ハイブリッドセミナー) |
| 期日 | 2022年11月12日(土)～11月13日(日) |
| 主題 | 古田武彦記念古代史セミナー2022—「聖徳太子」と「日出づる処の天子」— |
| 対象 | 古代史に関心のある方ならどなたでも |
| 趣旨 | <p>「聖徳太子」と「日出づる処の天子」の時代</p> <p>「古田武彦記念古代史セミナー」は、卑弥呼の時代(3世紀)、倭の五王の時代(5世紀)と続き今回が5回目となります。今回は「聖徳太子」と「日出づる処の天子」の時代(7世紀)に焦点を当てることにしました。</p> <p>「聖徳太子」は、1930年以來1986年まで、7回(百円札4回、千円札、五千円札、一万円札各1回)に亘り高額紙幣の顔として、日本人の懐を暖かくしてくれる「有難い存在」であり続けました。その「聖徳太子」は、冠位十二階や十七条憲法を定めるなどの偉大な業績を残す一方で、遣隋使に託した国書に「日出づる処の天子書を日没する処の天子に致す恙無きや」と書いて煬帝を激怒させたという話もよく知られています。しかし、「日出づる処の天子・・・」と書かれた国書に関する記述が正史である『日本書紀』に見られないのはどうしたことでしょう。相手を怒らせたからでしょうか。</p> <p>一方、(百衲本)『隋書』倭国伝には、「倭王姓阿每字多利思北孤號阿輩雞彌」が隋に使者を遣わし、国書には「日出處天子致書日没處天子無恙云云」と書かれていたと記されています。「(百衲本)『隋書』倭国伝に「倭王姓阿每字多利思北孤號阿輩雞彌」と記されている人物」=「聖徳太子」であれば話は簡単ですが、両者の属性を比較すれば一致しないものばかりです。一般に、2人が同一人物であることを証明するのは非常に難しいのですが、異なる人物であることの証明は簡単です。一致しない属性が一つでもあれば同一人物ではありません。それどころか、「聖徳太子」に関しては、存在すら疑われている有様です。</p> <p>物語として古代を語るのには夢がありこの上なく楽しいのですが、古代史学においては科学的な「史実」の確認が基本であり、その作業は客観的且つ evidence-based でなければなりません。今回のセミナーでは「聖徳太子」と(百衲本)『隋書』倭国伝に「倭王姓阿每字多利思北孤號阿輩雞彌」と記されている人物に焦点を当てることにより、7世紀の真実の歴史に迫りたいと思います。</p> <p>今回のセミナーは、嘗て50年以上に亘って日本人の懐を暖め続けてくれた「聖徳太子」が架空の人物であるという大山誠一先生による「衝撃的な」研究成果をお聴きすることから始めたいと考えました。このセミナーでは、大山先生の特別講演をお聴きした上で、古田先生の古代史学の研究方法を再確認しながら、「日出づる処の天子」の時代の evidence-based history について建設的な議論が盛り上がることを期待しています。</p> <p>このセミナーは、研究者のみならず、古代史に関心を持つ全ての人を歓迎します。このセミナーが、若い人々が真実の古代を覗く窓になれば幸いです。</p> <p>このセミナーは、大学セミナーハウスと多元的古代研究会、東海古代研究会、東京古田会及び古田史学の会が共同で開催します。</p> |
| 実行委員・講師 | <p><実行委員></p> <p>荻上紘一・大越 邦生、大墨 伸明、荻野谷正博、橘高 修、西坂 久和、畑田寿一、富川ケイ子、和田 昌美</p> <p><特別講演講師></p> <p>大山誠一(中部大学名誉教授)</p> |
| 定員 | 60名 |
| 参加者 | 62名(社会人:会場 38名 オンライン 24名) |
| アンケート結果 | <p>(回答 38名)</p> <p>※満足 14名、どちらかという満足 17名、どちらかという不満5名、わからない2名</p> <p>● 満足している ● どちらかという、満足している ● どちらかという、不満である ● 不満である ● わからない</p> |

| 事業名 | 憲法を学問するVI(ハイブリッドセミナー) | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|--|-----|----|--------|-------|-----------------|------|----------------|----|-------|----|-------|----|
| 期日 | 2022年10月1日(土)～10月2日(日) | | | | | | | | | | | | |
| 主題 | 転換期の国際憲法？ | | | | | | | | | | | | |
| 対象 | 大学生(大学院生を含む)及び社会人 | | | | | | | | | | | | |
| 趣旨 | <p>複数の国にまたがる私人間の法律問題を規律するルールを、国際私法といいます。しかし、そうした国際私法的規定は、世界市民法としてではなく、各国の私法上に現れるのが、国際社会の現状です。国際社会の緊密化とともに、次第に国際的な公序が発達してきたとはいえ、国際私法の統一性は、いまなお各国の国家法どうしの「調和」に依存しています。</p> <p>同様に、複数の国にまたがる、軍事・外交あるいは人権・環境などに関する憲法的ルールを国際憲法と呼ぶとすれば、その主要な存在形式(いわゆる法源)は、依然として各国の国家法としての憲法です。国際立憲主義のスローガンにもかかわらず、国際憲法は、各国憲法どうしのハーモナイゼーションに期待せざるを得ません(参照、ボリス・ミルキヌ=ゲツェヴィチ[小田滋・樋口陽一訳]『憲法の国際化』有信堂)。「全世界の国民が、平和のうちに生存する権利を有すること」を確認した前文や、将来の「調和」を展望し平和な国際社会のファースト・ペンギンたらんと志した9条や、かつて君主が独占した外交権の民主化を実現した69条や73条は、日本国憲法における国際憲法的規定の代表です。</p> <p>2022年2月24日、ロシアのウクライナへの侵攻により国際憲法上の調和が破壊され、グローバルイズムの夢も雲散霧消したかに見えるなかで、日本を含む各国の国際憲法的規定の運命は、いま世界史の荒波に大きく揺さぶられています。今年の「憲法を学問するVI」は、そこにフォーカスして、憲法と憲法学の過去・現在・未来を、みなさんとともに考えます。</p> | | | | | | | | | | | | |
| 企画委員・講師 | <p><企画委員兼講師></p> <p>石川健治 東京大学法学部教授(委員長)</p> <p>蟻川恒正 日本大学大学院法務研究科教授</p> <p>宍戸常寿 東京大学法学部教授</p> <p>木村草太 東京都立大学法学系教授</p> <p><特別講義講師></p> <p>樋口陽一 東京大学・東北大学名誉教授</p> | | | | | | | | | | | | |
| 定員 | 50名 | | | | | | | | | | | | |
| 参加者 | <p>会場参加:学生7校15名、社会人13名 計28名</p> <p>オンライン参加:学生2校2名、社会人8名 計10名</p> <p>合計38名</p> <p>※7大学:東京大学(9)、早稲田大学(2)、中央大学(2)、千葉大学・一橋大学・日本大学・上智大学(各1)、社会人(21)</p> | | | | | | | | | | | | |
| アンケート結果 | <p>(回答23名)</p> <p>※ 満足21名 どちらかというと満足2名</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足している</td> <td>91.3%</td> </tr> <tr> <td>どちらかというと、満足している</td> <td>8.7%</td> </tr> <tr> <td>どちらかというと、不満である</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>不満である</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> | 満足度 | 割合 | 満足している | 91.3% | どちらかというと、満足している | 8.7% | どちらかというと、不満である | 0% | 不満である | 0% | わからない | 0% |
| 満足度 | 割合 | | | | | | | | | | | | |
| 満足している | 91.3% | | | | | | | | | | | | |
| どちらかというと、満足している | 8.7% | | | | | | | | | | | | |
| どちらかというと、不満である | 0% | | | | | | | | | | | | |
| 不満である | 0% | | | | | | | | | | | | |
| わからない | 0% | | | | | | | | | | | | |

| | |
|---------|---|
| 事業名 | 第10回 EU セミナー |
| 期 日 | 2022年10月28日(金)～10月30日(日) |
| 主 題 | ウクライナ危機とEU 統合 |
| 対 象 | 大学生(大学院生、留学生を含む)、高校生、社会人 |
| 趣 旨 | <p>本年2月24日にロシア軍がウクライナに侵攻した。8年前のロシアのクリミア併合に続くロシアの国際法を踏みにじる暴挙だった。戦争の行方は依然としてわからないが(5月31日現在)、この戦争は回避できなかったのか。果たして平和は取り戻せるのか。</p> <p>EUは昨年来様々な形でロシア・ウクライナ間の調停に尽力したが、成功しなかった。戦争開始後もEU議長国としてマクロン大統領は奔走したが、解決は容易ではない。経済制裁や共通防衛政策の有効性、NATOとEUの防衛面での役割分担、天然ガスをはじめとする資源エネルギー問題への対応など難問山積だ。EUの対ウクライナ危機政策を議論する。</p> |
| 企画委員・講師 | <p><企画委員兼講師></p> <p>太田瑞希子 日本大学経済学部准教授 押村高 青山学院大学国際政治経済学部教授 小久保康之 東洋英和女学院大学国際社会学部教授 武田健 青山学院大学国際政治経済学部准教授 田中素香 中央大学経済研究所客員研究員・東北大学名誉教授 中西優美子 一橋大学大学院法学研究科教授 蓮見雄 立教大学経済学部教授 福田耕治 早稲田大学政治経済学術院教授 渡邊啓貴 帝京大学法学部教授・東京外国語大学大学院名誉教授<委員長></p> <p><特別講演講師></p> <p>駐日欧州連合代表部公使・副代表 ハイツェ・ジューメルス</p> |
| 定 員 | 60名 |
| 参加者 | <p>11校 45名 社会人1名 合計46名</p> <p>※11大学:立教大学(10名)、帝京大学(12名)、青山学院大学(4名)、日本大学(12名) 一橋大学、早稲田大学、中央大学、法政大学、東洋英和女学院大学、学習院大学、常磐大学(各1名) 社会人(1名)</p> |
| アンケート結果 | <p>(回答17名)</p> <p>※満足14名、どちらかと言うと満足1名(5.9%)、どちらかと言うと不満1名(5.9%)、わからない(5.8%)</p> <p>● 満足している ● どちらかと言うと、満足している ● どちらかと言うと、不満である ● 不満である ● わからない</p> |

| | |
|---------|---|
| 事業名 | 世界の中の中国と日本—現代中国理解IV |
| 期 日 | 2022年12月3日(土)~12月4日(日) |
| 主 題 | 新たな世界秩序?の下で中国共産党新政権の目指すもの |
| 対 象 | 大学生(大学院生、留学生を含む)、高校生、社会人 |
| 趣 旨 | <p>新型コロナウイルス感染症、そしてロシアのウクライナ戦争によって、世界は新たな時代を迎えているのかもしれない。たとえ、新たな時代とは言えないとしても、2010年代と2020年代とでは世界的な、またこの東アジアの国際関係は大きく変わった。米中「対立」は激化し、台湾海峡の緊張は増している。</p> <p>この新型コロナウイルス感染症に中国はいかに立ち向かい、ロシアのウクライナ侵攻を中国はいかに捉えたのだろうか。そして経済安保の重要性が提起される中で中国はいかなる持続可能な経済発展像を描いたのだろうか。中国では2022年秋に新政権が成立した。この講座では新政権の立ち上がり注目しつつ、目下の中国の立ち位置を政治的、経済的、社会的に確認するとともに、その国内情勢の延長上にある外交、台湾政策などの面からも考察してみたい。この講座を受講し、講師や他の参加者との学びや議論を通じて、一般的に言われる「西側先進国 vs 中露専制主義国」といった二項対立的な見方や、中国は「こうあるべき」と言った議論を相対化していくきっかけを受講者が得られれば幸いである。</p> |
| 企画委員・講師 | <p><企画委員兼講師></p> <p>川島真 東京大学大学院総合文化研究科教授 小嶋華津子 慶應義塾大学法学部教授 金野純 学習院女子大学国際文化交流学部教授 森路未央 大東文化大学外国語学部准教授</p> |
| 定 員 | 35名 |
| 参加者 | <p>10校 22名 社会人4名 合計26名</p> <p>※10校:学習院女子大学(10名)、青山学院大学(3名)、大東文化大学(2名)、上智大学、東京外国語大学、日本女子大学、学習院大学、京都外国語大学、城西大学、東京大学(各1名)</p> <p>社会人(4名)</p> |
| アンケート結果 | <p>(回答11名)</p> <p>※満足9名、どちらかと言うと満足1名</p>  <p>● 満足している ● どちらかと言うと、満足している ● どちらかと言うと、不満である ● 不満である ● わからない</p> |

2022 年度事業報告 附属明細書 3 留学生会館入居状況

1. 2023 年 3 月 31 日現在入居状況

| 学校名 | 所属 | | | 計 | 性別 | |
|--------|------|-----|----|----|----|----|
| | 大学院生 | 学部生 | 教授 | | 男性 | 女性 |
| 東京都立大学 | | 9 | | 9 | 8 | 1 |
| 東京工科大学 | | 12 | | 12 | 9 | 3 |
| 中央大学 | | 1 | | 1 | | 1 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 合計 | | 22 | | 22 | 17 | 5 |

2. 国別留学生数

| 国名 | 計 | 大学院生 | 学部生 | 教授 |
|--------|----|------|-----|----|
| フランス | 12 | | 12 | |
| 中国 | 2 | | 2 | |
| フィリピン | 2 | | 2 | |
| ラオス | 2 | | 2 | |
| スリランカ | 1 | | 1 | |
| インドネシア | 1 | | 1 | |
| ブラジル | 1 | | 1 | |
| ネパール | 1 | | 1 | |
| | | | | |
| | | | | |
| 合計 | 22 | | 22 | |

2022 年度事業報告 附属明細書 4 留学生論文の表彰に関する事項

留学生論文コンクールは留学生の日本語による論文作成能力を向上させる機会を提供するとともに、日本留学の成果を発信し、国際相互理解及び国際交流を促進することを目的に 2009 年度から実施している。

1、応募作品数:29 作品

2、応募者内訳

(1)大学数:23 大学

(2)国籍:9 つの国と地域

3、入賞作品一覧

| 賞別 | 氏名 | 大学名 | 国籍 | 論題 |
|----|--|---------|-------|---|
| 金 | 李 千菁 (リ センセイ) | 鳴門教育大学 | 台湾 | 多角的な視点から見る「現代のうつ病」 |
| 銀 | レークインアイン | 名古屋経済大学 | ベトナム | 廃棄物処理方法について |
| 銀 | LEONIDA RHANZEL LARIOQUE(レオニダ ランザル ラリオク) | 日本経済大学 | フィリピン | 国境を越えた「子ども食堂」の可能性: フィリピン・マニラ市のスラム・トンド地区を例に |
| 銅 | 林 詩容 (リン シーロン) | 愛知大学 | 台湾 | 持続可能な開発目標(SDGs)に潜む問題 |
| 銅 | 何 其歆 (カ キカン) | 神奈川工科大学 | 中国 | ポストコロナ時代にオリンピックの価値と展望 |